

[ホーム](#) > 第4回アンケート調査

## 第4回アンケート調査「ユニバーサル社会づくりの推進について」

兵庫県では、年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわらず、県民だれもが地域社会の一員として支え合うなかで安心して暮らし、一人ひとりが持つ力を発揮して元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現をめざしています。

その一環として、まず、平成17、18年度の2か年で、ハード・ソフト両面から県が率先して取り組むべき具体的な行動を「ユニバーサル社会づくり兵庫県率先行動計画」としてとりまとめ、計画的に進めてきました。

また、県民のみなさんの参画と協働により、ともに進めていくための体制づくりや地域社会への理念等の理解・浸透を図るための普及啓発に関する事業を進めてきました。

お寄せいただいたご意見・ご提案は、今後の取り組みへの参考とさせていただきます。

アンケートは以下の7つのカテゴリーに分かれています。各カテゴリー画面の末尾に「次へ」ボタンと「クリア」ボタンを設けていますので、次のカテゴリーごとに切り替えてご覧ください。

1: 第4回アンケート調査「ユニバーサル社会づくりの推進について」(当画面)

2: 登録ID及びパスワード入力画面

3: (1)ユニバーサル社会づくりへの理解・認識について

4: (2)ユニバーサル社会づくりの進め方について

5: (3)だれもが社会参加できる社会づくりに向けて

6: (4)施設のバリアフリー情報の提供について

7: 記載内容確認画面

上記7の「記載内容確認画面」で記載済みの内容をご確認の上、末尾の「送信」ボタンを押していただければアンケートが完了します。

### (利用上の注意)

・アンケートフォームの開設期間中は、何度でも回答をやり直すことができます。

・送信済みの回答結果は再表示されませんので、全項目に改めて回答いただく必要があります。

・期間中、最後に送信した回答のみが県に登録されます。

・設問中に登場する「参考資料」の最下部に、「より良いウェブサイトにするため」のアンケートがございますが、このアンケートは、本県民モニターアンケートとは無関係ですので、ご注意下さい。

入力を開始する

[このページのトップへ](#)

[ホーム](#) > 第4回アンケート調査 > (1)ユニバーサル社会づくりへの理解・認識について

## (1)ユニバーサル社会づくりへの理解・認識について

「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存じですか？バリアフリーが、障害のある人が社会生活をしていく上でのバリア(行動を妨げるもの)を取り除こうとするものであるのに対し、ユニバーサルデザインは、設計段階からすべての人が共通して利用しやすいように「もの」や「まち」をデザインするという考え方です。

兵庫県では、このようなユニバーサルデザインの考え方を、人の意識やまちの構造、社会のしくみ全般に取り入れて社会環境を整備することにより、だれもが安心して暮らし、元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現をめざしています。

以下の設問にお答え下さい。

Q1

あなたは、「ユニバーサル社会」という言葉をご存じでしたか、一つ選んで下さい。

- 言葉も意味も知っていた
- 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 言葉も意味も知らなかった

Q2

県では、県民のみなさんに「ユニバーサル社会づくり」についてご理解いただくために、情報誌「ユニバーサルひょうご」の発行、ホームページ「ユニバーサルひょうご」(URL:<http://www.universal-hyogo.jp/> <別ウィンドウで開きます>)を開設していますが、ご覧になったことはありますか、一つ選んで下さい。

- 情報誌もホームページも見たことがある。
- 情報誌は見たことがあるが、ホームページは見たことがない。
- ホームページは見たことがあるが、情報誌は見たことがない。
- 情報誌もホームページも見たことがない。

[次へ](#)

[クリア](#)

[このページのトップへ](#)

[リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

[ホーム](#) > 第4回アンケート調査 > (2)ユニバーサル社会づくりの進め方について

## (2)ユニバーサル社会づくりの進め方について

ユニバーサル社会づくりは、県民、企業、地域団体、NPO、行政など地域社会を構成する様々な主体が、それぞれの立場に応じて率先した取り組みを進めていくことにより実現されると考えます。

以下の設問にお答え下さい。

Q1

地域でユニバーサル社会づくりを進めていくため、最も重要と思う取り組みの主体を一つ選んで下さい。

- 県民
- 企業
- 自治会などの地域団体やNPO
- 行政(県、市町、国)
- その他(下欄にお書き下さい)

Q2

あなたは、どのような社会的課題への対応に力を入れてユニバーサル社会づくりを進めていくべきと思われますか。特に重要と思うものを一つ選んで下さい。

- 少子化への対応(妊婦や子育て世代に対する配慮等)
- 高齢化への対応(高齢者の日常生活に対する配慮等)
- 障害者の自立への対応(障害者の移動や雇用への配慮等)
- 多文化共生への対応(外国人県民や旅行者への配慮等)
- 男女共同参画への対応(性別に関わりのない平等な雇用等)
- その他(下欄にお書き下さい)

Q3

県では、5つの基本目標を掲げてユニバーサル社会づくりを進めています。あなたが特に重要と思うものを一つ選んで下さい。

- 互いの人格と個性を尊重し、支え合う社会
- 容易にものを利用し、質の高いサービスを共有する社会
- 多様な方法で、理解しやすい情報を手に入れ、交換できる社会
- 安心して住まい、自宅から街なかまで安全・快適に移動し、活動できる社会
- 持てる力を発揮して働くなど、主体的な参加・参画ができる社会

Q4

県では、県民の皆さんに「ユニバーサル社会づくり」への理解を深めていただくため、次の各事業を進めています。参考資料1をご覧ください、あなたが最も効果があると思われるものを一つ選んで下さい。(参考資料1:ユニバーサル社会づくりに向けて進めている事業 <別ウィンドウで開きます>)

- 情報誌やホームページを使った情報の発信
- 会社、学校、自治会などの集まりに専門の講師を派遣する「出前講座」
- 各地域単位で開催する実践活動家などの参画による「地域実践活動セミナー」
- ユニバーサル社会づくりのための学識経験者などによる「リーダー養成講座」

[次へ](#)

[クリア](#)

[このページのトップへ](#)

[ホーム](#) > 第4回アンケート調査 > (3)だれもが参加できる社会づくりに向けて

### (3)だれもが参加できる社会づくりに向けて

県では、障害者をはじめ、だれもが積極的に参加・参画できるユニバーサル社会の実現に向けて、「障害のある方への声かけ運動」を展開し、心のユニバーサル化を進めています。

#### 障害のある方への声かけ運動とは

障害のある方が地理不案内や電車・バスの乗り降りなどでお困りの様子を見掛けたら、まず声を掛け、必要な手助けを積極的に行うよう、広く呼びかける県民運動です。

以下の設問にお答えください。

Q1  
あなたは、日常的に障害のある方と接する機会がありますか。

- よくある
- 少しある
- まったくない

Q2  
あなたは、障害のある方の思いやこうした方々を取り巻く環境を理解できていると思いますか。

- どちらも理解している
- 思いは理解できているが、取り巻く環境は理解できていない
- 思いは理解できていないが、取り巻く環境は理解できている
- どちらもできていない
- わからない

Q3  
年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわらず、だれもが容易に社会参加できるようにするために県が取り組むべきと思われるものを次の中から一つ選んで下さい。

- 互いの立場への理解を深めるため、様々な立場の人たちが交流できる機会を増やす
- 様々な立場の人たちが社会参加できる設備や制度の充実・導入を進める(点字プリンタ、音声読み上げ・翻訳ソフト導入、保育施設、育児休暇等)
- 様々な立場の人たちが自身の能力を企業や社会にアピールできる機会を設ける
- 様々な立場の人たちを積極的に受け入れる企業や地域に、財政的な支援を行う
- その他(下欄にお書き下さい)

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

[リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

[ホーム](#) > 第4回アンケート調査 > (4)施設のバリアフリー情報の提供について

## (4)施設のバリアフリー情報の提供について

県では、だれもが安心して外出や旅行ができるまちづくりをめざして、施設のバリアフリー化の状況などを調査し、その結果を一元的に情報提供することを検討しています。

以下の設問にお答え下さい。

Q1

あなたは、だれもが安全・快適にまちを移動するために、どのような配慮が必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んで下さい。  
(注)内部障害者(オストメイト等)とは、人工肛門や人工膀胱の使用者(オストメイト)、心臓ペースメーカーの使用者など臓器に障害のある方のことです。

- 高齢者に対する配慮(段差などの解消、休憩所の設置等)
- 外国人県民・旅行者に対する配慮(複数言語による案内表記等)
- 障害者に対する配慮(点字ブロックの敷設、車いす・内部障害者(オストメイト)対応トイレの設置等)
- 子供連れに対する配慮(授乳室、子供の一時預かり所の設置等)
- その他(下欄にお書き下さい)

Q2

あなたは、どのような施設等についてバリアフリー情報の提供があればよいと思いますか。次のうち、重要性が高いと思うものを三つまで選んで下さい

- 公的機関(県庁舎、市役所、町役場、警察署、公立病院等)
- 公共交通機関(鉄道駅舎・車両、バスターミナル・車両、空港・航空機、乗船場・船舶等)
- 文化・スポーツ施設(劇場、映画館、体育館、競技場等)
- 観光施設(文化財施設、遊園地、動物園、水族館、植物園、ホテル、旅館等)
- 商業施設(百貨店、スーパー、商店街、一般店舗、コンビニ、飲食店等)
- その他(下欄にお書き下さい)

Q3

参考資料2をご覧ください、あなたがこれまでに訪れた施設(公共施設、民間施設を問わない)において、「便利だ」と感じたバリアフリー設備を次の中からすべて選んで下さい。(参考資料2:施設のバリアフリー設備など <別ウィンドウで開きます>)

- スロープ
- 手すり
- 自動ドア
- 施設案内表示板(音声、点字を含む)
- エレベーター
- トイレ(車いす使用者、内部障害者(オストメイト)、乳幼児等に対応したトイレ)
- その他(下欄にお書き下さい)

Q4

あなたがこれまでに訪れた施設(公共施設、民間施設を問わない)において、「誰もが使いやすい施設にするために必要」と感じたサービスを、次の中からすべて選んで下さい。(Q3の参考資料2をご参照下さい <別ウィンドウで開きます>)

(注)AED(自動体外式除細動器)とは、突然、心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す、誰にでも簡単に扱える医療機器のことです。

- わかりやすいパンフレットやメニュー(大きな文字、見やすい色づかい等)
- 案内所(サービスカウンター)の設置
- AEDの設置
- ベビーカーの貸出
- 車いすの貸出
- その他(下欄にお書き下さい)

Q5

他に、バリアフリー化の状況などを調査し、情報提供する必要があると思われる施設(公共施設、民間施設を問わない)又は設備・サービスがあれば下

欄にお書きください。

Q6

施設のバリアフリー情報には、他に当該施設についてのどのような情報を掲載する必要があると思いますか。特に必要と思うものを二つまで選んで下さい。

- 所在地等に関する情報(場所、電話・FAX番号、ホームページ・メールアドレス、周辺地図等)
- 利用に関する情報(利用時間、定休日、利用料金、定員等)
- 催し物などに関する情報
- ホームページへのリンク
- その他(下欄にお書き下さい)

次へ

クリア

[このページのトップ](#)



[ホーム](#) > [県政情報・統計](#) > [広報広聴](#) > [広聴活動](#) > 参考資料1(ユニバーサル社会づくりに向けて進めている事業)

## 広報広聴

広聴活動

更新日:2006年12月18日

### 参考資料1(ユニバーサル社会づくりに向けて進めている事業)

#### (1)ユニバーサル社会づくり出前講座

県民のみなさんが、会社や学校、自治会などで「ユニバーサル社会づくり」の理念や先導的な取り組みについて学習する機会に、専門の知識を有する講師を派遣し、みなさんのユニバーサル社会づくりへの理解浸透のお手伝いをしています。

講師には、障害をお持ちの方ご本人、障害者・高齢者団体関係者、ユニバーサルデザインに配慮したもののづくり・まちづくりに携わる研究者、先導的な取り組みを行っている企業など様々な立場の方が登録しており、みなさん自身の取り組みにつながるような講演を各地で展開しています。(平成18年度の補助は終了しています。)



ユニバーサル社会づくり出前講座

#### (2)ユニバーサル社会づくり地域実践活動セミナー

県民のみなさんが、それぞれの地域でユニバーサル社会づくりに主体的に取り組んでいただくためのヒントとなるような実践活動の事例などを発表するセミナーを各県民局単位で開催しています。

(今後、阪神南県民局、阪神北県民局、東播磨県民局、丹波県民局でも開催される予定です。)

ユニバーサル社会づくり地域実践活動  
セミナー

#### (3)ユニバーサル社会づくりリーダー養成講座

ユニバーサル社会づくりを自治会や職場、学校などで進めていただくリーダーを県民の皆さんから募り、これらの方々を対象に、理念の普及や実践活動の先導のために必要な知識や事例などを中心に、分野ごとに専門の講師を招いて、連続講座を開催しています。

(18年度は、8月、9月で終了しています。)

ユニバーサル社会づくりリーダー養成  
講座

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

1:役に立った  2:ふつう  3:役に立たなかった

質問:このページの情報は見つけやすかったですか?

1:見つけやすかった  2:ふつう  3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名: 県民政策部知事室広聴課
- 電話: 078-362-3021
- FAX: 078-362-4291
- Eメール: kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

---

| [リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

---



[ホーム](#) > [県政情報・統計](#) > [広報広聴](#) > [広聴活動](#) > 参考資料2(施設のバリアフリー設備や誰もが使いやすいサービスの一例)

## 広報広聴

広聴活動

更新日:2006年12月18日

### 参考資料2(施設のバリアフリー設備や誰もが使いやすいサービスの一例)

対象者	場所	ハード(施設整備)	ソフト(サービス)
共通(複数該当)		・スロープ ・自動ドア ・施設案内板 ・エレベーター ・エスカレーター ・てすり ・AED(注2)	・補助犬同伴可マーク(注3) ・わかりやすいメニュー・パンフレット (大きな文字、見やすい色づかい等) ・案内所(サービスカウンター) ・傘の貸出
視覚障害者		・点字ブロック ・音声案内装置	・拡大鏡の貸出 ・点字パンフレット
聴覚障害者		・磁気ループ (周囲の雑音を除去し、マイクを使った話し手の声だけを補聴器使用者に聞き取りやすくするシステム) ・光の点滅や文字表示により情報を伝達する火災警報装置	・耳マーク(注3) (筆談対応可能) ・手話対応可能
車いす使用者 (肢体障害者)		・障害者用駐車場 ・車いす対応受付カウンター ・車いす対応トイレ ・車いすに対応した利便施設 (自販機、券売機、ATM、公衆電話等) ・介護ベッド付トイレ	・車いす貸出
内部障害者(オストメイト等)(注1)		・オストメイト対応トイレ	・ハートプラスマーク(注3) (ペースメーカー使用者など内部障害者であることを示すマーク) ・携帯電話使用禁止エリアの設定・案内
高齢者		・休憩スペース	・杖の貸出 ・老眼鏡の貸出
子ども連れ		・乳幼児対応ベビーチェア ・おむつ交換台 ・授乳室 等	・ベビーカーの貸出 ・一時預かり保育
外国人		・多言語での案内表示	・多言語での受付、パンフレット ・多言語によるアナウンス

(注1) 内部障害者(オストメイト等)とは、人工肛門や人工膀胱の使用者(オストメイト)、心臓ペースメーカーの使用者など臓器に障害のある方のことです。

(注2) AED(自動体外式除細動器)とは、突然、心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す、誰にでも簡単に扱える医療機器です。

(注3)

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

**質問:このページの情報は役に立ちましたか?**

1:役に立った  2:ふつう  3:役に立たなかった

**質問:このページの情報は見つけやすかったですか?**

1:見つけやすかった  2:ふつう  3:見つけにくかった

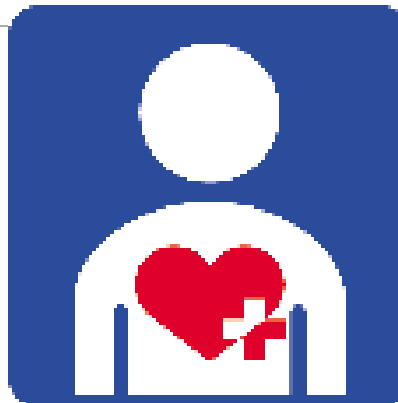
送信



補助犬同伴可マーク



耳マーク



ハートプラスマーク

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名: 県民政策部知事室広聴課
- 電話: 078-362-3021
- FAX: 078-362-4291
- Eメール: kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)